

## 三学期が始まりました



新しい年、令和6年を迎えました。保護者の皆様方、三郷地区の皆様方、本年も旧年同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、17日間の冬休みを終えて、昨日より、一番短い学期である三学期がスタートいたしました。久しぶりに元気な三郷小の子どもたちの顔を見ることができて嬉しく思いました。

三学期の始業式では、元日に発生いたしました「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々に対しまして、全児童・全教職員で静かにお祈りを捧げました。そのあとで、私（校長）より次のような話を子どもたちにしました。

未来を変えるにはどうしたらよいか。答えは「今という瞬間を大切に精一杯生きる」ということだ。「学校生活は点ではなくて線だ」。その線は、今という瞬間の点がつながって線になっているからだ。「今やることに全力を尽くす」この言葉を私（校長）は大切にしている。今を大切にしていけることにすべての力を注ぐこと・・・今を大切に生きないと未来に花は咲かない。私たちの「今」はこれまでの「過去」の積み重ねであり、私たちの「未来」は「今」の一瞬、一瞬の積み重ねの先にあるものだ。今を一生懸命生きること、今やることに全力を尽くすことで未来は変えられる。だから変えるのなら今なのだ。

ざっとこのような流れの話をしました。生きていることに感謝しつつ、子どもたちには一歩一歩着実に歩いてほしいと願っております。

## 第2回 学校評価アンケート ありがとうございました



昨年の12月の初旬から中旬にかけて、「第2回学校評価アンケート」をお願いいたしました。暮れのご多用の折、たくさんのご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

現在、集約等をおこなっております。結果等がまとまりましたら、皆様方にお伝えさせていただく予定です。

## 子どもたちのみずみずしい感性 いいですね

「三郷っ子だより」第14号を発行以降、上毛新聞に掲載された本校児童の力作を以下に紹介いたします。どの作品も子どもの感性が光るものばかりですね。

<12月18日(月)「上毛ジュニア俳壇」・朝の一句掲載>  
朝の風北風ピューピュー風の音 6年 柿沼 優月さん

<12月21日(木)「上毛ジュニア俳壇」・朝の一句掲載>  
寒い時あたたかい色おちつくな 3年 奥原 結さん

<12月21日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>  
どんぐりがちっちゃいかぞくみたいだな 1年 大久保 瑠莉さん  
いちごなくミカンでおいわいたんじょうび 3年 栗原 歩夢さん  
いねかりのあとのたんぼはさみしそう 3年 鈴木 明依さん

<12月28日(木)「上毛ジュニア俳壇」掲載>  
こうえんにまっかなもみじのすべりだい 1年 春木 郁南さん  
手が寒い何をしたって手が寒い 6年 吉澤 知優さん



## 6年生のキャリア学習が新聞に掲載されました



冬休み初日の12月23日(土)の上毛新聞20面に、6年生のキャリア学習についての記事が掲載されました。

本校の取組や本校の子どもたちの頑張りが広く報道されることは、大変うれしいことです。

以前にもお伝えしましたが、同様の取組を、1月16日(金)には4年生を対象に、1月19日(金)には5年生を対象に行います。

4年生向けでは、本市出身のジャズ・ベーシストの須川崇志氏が来校し、ジャズやベーシストの魅力について語るとともに、大学を中退し、夢を追って単身渡米したエピソード等々についても語っていただく予定です。

5年生向けでは、本校卒業生の矢内雄一郎氏(株式会社テレビ東京 コンテンツ戦略局 アナウンス部 アナウンサー)が来校し、アナウンサーの仕事ややりがいを紹介したり、氏のモットーである「夢は絶対にかなう!!」を熱く語っていただく予定です。

## 大谷翔平選手寄贈のグローブが届きました

報道等でご案内のとおり、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手寄贈(寄贈時はロサンゼルス・エンゼルス所属)のグローブ3つですが、1月5日(金)に伊勢崎市役所にて頂戴いたしました。

9日の始業式の際、全校児童には紹介をしました。今後は、まずは各学級ごとに全児童一人一人が手に取ってみたり、はめてみたりしてみます。その後は、教育活動の中で大切に使用させていただく予定であります。

大谷翔平選手、ありがとうございます。

別途、この学校だよりは白黒印刷のため、わかりにくいかと思えます。昨日の本校のホームページ内の「最近のできごと」をご覧ください。



↑寄贈のグローブとメッセージ

学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷選手からのメッセージ→

大谷翔平